



平成 19 年 4 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社アイケイコーポレーション  
 代 表 者 名 代表取締役社長 加 藤 義 博  
 (コード番号：3377 東証二部)  
 問 合 せ 先 経営管理室・人財管理室・  
 経営企画室管掌  
 取 締 役 松 本 博 幸  
 (TEL. 03-6803-8855)

## 平成 19 年 8 月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 10 月 13 日の決算発表時に公表した平成 19 年 8 月期(平成 18 年 9 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日)の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 平成 19 年 8 月期 中間連結業績予想数値の修正

( 1 ) 中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 9 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 18 年 10 月 13 日発表)	9,191	470	261
今 回 修 正 予 想 ( B )	8,849	418	160
増 減 額 ( B - A )	341	51	101
増 減 率 ( % )	3.7%	11.0%	38.7%
(ご参考) 前中間期実績(平成 18 年 8 月期)	-	-	-

当社は平成 19 年 8 月期が連結中間財務諸表作成初年度であるため、(ご参考)前中間期実績の記載を行っておりません。

### ( 2 ) 修正の理由

売上高につきましては、駐車場を営む子会社「株式会社パーク王」において、事業地の確保が当初計画を下回ったこと、機器開発が遅延し販売活動に支障をきたしたこと等を主たる理由とし、当初計画の売上高に至りませんでした。また現状において改善しているものの、当社において、平成 19 年 3 月の事業譲受に先立って実施した株式会社テクノスポーツに対する検証活動の影響によって、広告費用効果の低下、オペレーション業務の混乱等がみられ、一時的に買取(仕入)台数ならびに販売台数が減少いたしました。以上の結果、前回予想との比較において 341 百万円減の 8,849 百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、当社において、査定システムに基づく買取価格の算定および営業努力によって売上総利益率の改善に努め、販売台数減少による影響を小さくいたしました。が、「株式会社パーク王」において当初計画の売上高を確保できなかったことを主たる理由とし、前回予想との比較において51百万円減の418百万円となる見込みであります。

中間純利益につきましては、「株式会社パーク王」における減損損失等の特別損失、子会社における税効果会計の影響等を主たる理由とし、101百万円減の160百万円となる見込みであります。

## 2. 平成19年8月期 中間個別業績予想数値の修正

(1) 中間業績予想数値の修正(平成18年9月1日～平成19年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成18年10月13日発表)	8,981	491	275
今回修正予想(B)	8,768	481	216
増減額(B-A)	213	10	59
増減率(%)	2.4%	2.2%	21.5%
(ご参考) 前中間期実績(平成18年8月期)	7,528	522	270

### (2) 修正の理由

売上高につきましては、上記「1.連結(2)修正の理由」に記載したとおり、一時的な混乱等によって販売台数が当初計画を下回ったことを主たる要因とし、前回予想との比較において213百万円減の8,768百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、上記「1.連結(2)修正の理由」に記載したとおり、売上総利益率の改善に努めましたが、一時的な販売台数減少にともなう売上高減少を吸収するに至らず、前回予想との比較において10百万円減の481百万円となる見込みであります。

中間純利益につきましては、特別損失における投資損失引当金繰入額の計上を主たる理由とし、前回予想との比較において59百万円減の216百万円となる見込みであります。なお、投資損失引当金繰入額につきましては、「株式会社パーク王」に対する当社の出資金全額について行うものであり、当該子会社の業績が当中間期において当初計画を大きく下回ったことに基づくものです。

## 3. 通期業績予想について

平成19年8月期通期(平成18年9月1日～平成19年8月31日)業績予想に関しましては、平成19年8月期中間決算発表時に発表する予定です。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。